

いわみざわ 市議会だより

「岩見沢市議会に関するアンケート調査」
を実施しています

今号の主な内容

- 審議結果 2
- 一般質問 4
- 議会の構成 9
- 岩見沢市議会に関するアンケート調査
について 10
- 編集後記 10

令和元年第1回臨時会（5月16日）審議結果

議案番号	件名	審議結果
選挙第2号	議長の選挙	当選 (篠原 藤雄)
選挙第3号	副議長の選挙	当選 (石黒 武美)
議案第37号	岩見沢市議会委員会条例の一部改正について	原案可決
選任第1号	常任委員会委員の選任	選任
選任第2号	議会運営委員会委員の選任	選任
選挙第4号	桂沢水道企業団議会議員の選挙	当選 (伊澤 幸信) (斉須 正友) (平野 義文) (古石 英仁)
選挙第5号	空知教育センター組合議会議員の選挙	当選 (大坂 龍起)
選挙第6号	岩見沢地区消防事務組合議会議員の選挙	当選 (池島 和行) (大坂 龍起) (斉須 正友) (野尻 清教) (峯 泰透) (宮下 靖廣) (山田 靖廣)
選挙第7号	南空知ふるさと市町村圏組合議会議員の選挙	当選 (篠原 藤雄)
議案第38号	監査委員の選任について	同意 (豊岡 義博)
決議案第2号	閉会中の所管事務調査について	原案可決

令和元年第2回臨時会（6月6日）審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第39号	令和元年度岩見沢市一般会計補正予算について(第1号)	原案可決

正副議長就任あいさつ

(於 第1回臨時会)



議長 篠原 藤雄

第1回臨時会におきまして、議員各位のご推挙によりまして、第35代の市議会議長に就くことになりました。大変に身に余る光栄であり、衷心より厚く感謝するとともに、身の引き締まる思いであります。

岩見沢市議会のかじ取り役として市政の推進と議会の円滑な運営のため、勇往邁進、懸命に努力を傾注するところであり、市政発展の上において、正しく相携えて、令和の新時代、8万市民の代弁者として、信頼に応えていくべきと考えるところであります。よろしくお願いいたします。



副議長 石黒 武美

令和元年、新たな時代の幕開けの中で、第20期の市議会副議長選挙におきまして、ご選任をいただきました。岩見沢市議会の歴史ある中で、先例、前例、慣例、慣習を重んじ、議会運営に努めてまいります。よろしくお願いいたします。

皆様の温かい叱咤激励をよろしくお願いをし、甚だ簡単措辞ではございますが就任に当たってのご挨拶といたします。よろしく願います。

議会の役割は、基本は行政のチェック機能、それと私は職員を育てるのも議会の仕事とっております。本は行政のチェック機能、それと私は職員を育てるのも議会の仕事とっております。本は行政のチェック機能、それと私は職員を育てるのも議会の仕事とっております。

令和元年第2回定例会（6月17日▶6月28日）

審議結果

議案番号	件名	審議結果
議案第40号	岩見沢市森林環境譲与税基金条例の設定について	原案可決
議案第41号	元号を改める政令の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の設定について	原案可決
議案第42号	岩見沢市税条例等の一部改正について	原案可決
議案第43号	岩見沢市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第44号	岩見沢市地方活力向上地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第45号	岩見沢市北村勤労者住宅条例の一部改正について	原案可決
議案第46号	議決の変更について（平成30年度東小学校大規模改修主体工事）	原案可決
議案第47号	議決の変更について（平成30年度東小学校大規模改修電気設備工事）	原案可決
議案第48号	議決の変更について（平成30年度東小学校大規模改修機械設備工事）	原案可決
議案第49号	令和元年度岩見沢市一般会計補正予算について（第2号）	原案可決
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意 (山口 あけみ)
諮問第2号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意 (野崎 政義)
諮問第3号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意 (小山 祐子)
諮問第4号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意 (渡部 久美子)
諮問第5号	人権擁護委員の候補者の推薦について	同意 (鈴木 隆之)
意見書案第2号	放課後児童クラブ(学童クラブ)の職員配置基準等の回復及び放課後児童支援員等の処遇改善について	原案可決
決議案第3号	議会改革推進特別委員会の設置について	原案可決

※可決した意見書案・決議案の全文は、市議会ホームページでご覧になれます。

第2回定例会までに提出された次の陳情・要望書は全議員に写しが配布されました。

- 辺野古新基地建設の即時中止と、普天間基地の沖縄県外・国外移転について、国民的議論により、民主主義及び憲法に基づき公正に解決するべきとする意見書の採択について（2件）
- 「新たな過疎対策法の制定に関する意見書」の提出について
- 日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択について
- 「国の責任による35人以下学級の前進」について
- 「給食費の無償化」について
- 「これからの高校づくりに関する指針」を見直し、機械的な高校統廃合を行わないことについて
- 特別支援学校の設置基準の策定、及び、特別支援学級の学級編制標準の改善について
- 米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書について
- 日米貿易協定交渉から日本の農業・農村を守る要望意見書の提出について

第2回定例会において、市の施策の状況や方針等について、10人の議員が市長、教育長に対して一般質問を行いました。紙面の都合上、要約し掲載いたします。

一般質問項目一覧 ※大項目のみ掲載

政和会 日向 清一

1. 高齢運転者対策について
2. 8050(ハチマルゴーマル)問題への対応について
3. 学校給食について
4. 教職員の超勤縮減対策について

市民クラブ 武田 貞行

1. 公共施設再編基本計画について
2. 岩見沢市のICT活用状況について

みどりの会 河合 清秀

1. 岩見沢の産業経済発展を進めるために
2. 市内中学生の進学先について

市民クラブ 木村 光宏

1. 自衛隊との関係及び連携について

日本共産党議員団 上田 久司

1. アスベスト対策について
2. 児童虐待への対応等について
3. 学校トイレの取り組みについて

日本共産党議員団 山田 靖廣

1. 子ども人数減少と医療費助成について
2. 高齢化社会への対策について
3. 大型連休への対応について

公明党 猪口 満雅

1. 地方創生の取り組みについて
2. 高等教育への奨学金制度について

公明党 斉須 正友

1. 企業版ふるさと納税について
2. 認知症対策について
3. 社会保障教育について

市民クラブ 越戸 正樹

1. 緊急通報システムと、ICTを利用した高齢者見守りシステムについて
2. 子育て世帯のメンタルヘルスの増進について
3. 乳幼児健診について
4. 子育て支援について
5. 中学校選択制度のパンフレットについて

政和会 池島 和行

1. 日用食料品などの買い物困難状況について
2. 災害に向けた活動や取り組みについて
3. 来年度のオリンピック・パラリンピックについて

教職員の超勤縮減対策について



政和会
日向 清一

①適正な登校時刻を市民に伝え、学校現場の負担軽減に努めるべきでは

【教育長】「働き方改革検討部会」を設置し、具体的な改善策を検討・実施している。

登校時刻については、それぞれのご家庭に事情があることから教育委員会として一律に規制するような対応は難しいが、教職員の出勤前に登校するケースでは、子どもの安全や健康の観点からの課題もあるため、指定された登校時刻を守るよう、教育広報等を通じて周知していく。

②現時点の超勤縮減対策の成果と課題について

長時間勤務の要因にもなっている部活動の指導については、「岩見沢市の部活動の在り方に関する方針」を策定し、休養日や活動時間を明確にしつつ、子どもたちにも教職員に

も過度な負担とならないよう取り組んでおり、昨年度からは、長期休業期間中における学校閉庁日の実施や、勤務時間の客観的な把握や業務の効率化に有効な校務支援システムの導入に向けた調査・研究を進めるとともに、教職員のメンタルヘルス対策としてのストレスチェックを今年度中に実施する方向で準備している。

勤務時間の削減については、遅くとも午後8時には退勤することをルール化し、部活動の休養日や活動時間の取り組みにより、徐々に成果があらわれている。その一方で、残っている教員が固定化されているという課題もある。

部活動などにおいて、外部人材の活用も有効な手段であるが、それを担う人材や組織が整備されていないため、その環境を整えることや学校と外部人材の役割の明確化、児童生徒、保護者の理解を得ることなどが課題である。

③転送電話機能による時間外アナウンス導入について

検討部会での協議を踏まえて夏季休業日に実施する予定。



市民クラブ
武田 貞行

岩見沢市のICT 活用状況について

①無線通信設備整備に関する市としての取り組み状況について

【市長】平成15年に通信事業者による光ファイバやADSLサービスが困難な地域（条件不利地域）に対し、「FWA（固定無線アクセス）」を用いた環境整備を行い、平成21年には、条件不利地域において希望されるご家庭への高速インターネット環境を実現している。

——今後の計画について

農業へのロボット技術などの利活用、いわゆる「スマート農業」に対するニーズが急速に高まってきていることを踏まえ、当市の基幹産業である農業の持続性の確立、さらには農村地域における安全・安心な生活の確保を目指し、次世代通信規格「5G」や、現在制度検討が進められている「地域5G」との協調を視野に入れながら「スマート農業」の

社会実装と条件不利地域解消に向け、「地域BWA（広帯域移動無線アクセス）」を用いることとし、本年2月には地方自治体として初となる免許取得のもと、公設民営による新たな地域通信サービスとして整備を進めており、年内には一部地域でのサービス開始を予定している。

②地域BWAの利活用について

本年度、農林水産省より3力年のモデル地区指定を受け、北海道大学医学部等と協調して取り組みを進めている「健康」に関する利活用を初め、買い物支援や安心して在宅生活を送るための環境構築について、産学官金による連携を図りながら社会実装に取り組む。

また、生産者のニーズを初め、北海道大学と協調して取り組みを進めている「スマート農業」において、ロボットトラクターのテレメータ・テレコントロール機能や自動給水栓、圃場に設置する各種センサーなどの通信環境として「地域BWA」の活用を予定している。



会
みどりの
河合 清 秀

岩見沢の産業経済 発展を進めるために

①農業所得の向上について

——農産物の販売に市はどのようにかかわっているのか

【市長】市では、岩見沢産農産物のPR活動等にかかわるほか、「岩見沢市農業所得向上等協働促進協議会」を設置して取り組んでいる。

——農産物の販売先・販路拡大の取り組みについて

企業の求めるものをつくる農業への転換という発想を取り入れ、多くの企業等と販路拡大に向けた協議を重ね、試験輸出・試験販売をし、岩見沢産米の販売契約締結に至った。

——今後の取り組みについて

販路拡大について、PR効果の高いイベント等の実施により北海道岩見沢産を消費者にPRし、事業効果の検証を行いながら取り組みを進める。さらに、産地への信頼に基づく販路拡大等が図られるよう生産面に

おける下支えも取り組んでいく。

②農産物に付加価値をつけ世界に売り出す産業や6次産業の育成について

——企業育成や企業誘致のために必要な方策について

市の支援制度及び国の優遇制度を活用し、新たな企業の進出による地域経済活動の活性化、地元雇用の創出に向けた取り組みを進めている。

——6次産業化等の取り組みを進めるための方策について

農産物の付加価値向上を図るため、関係機関・団体、企業等と連携のもと、6次産業化や農商工連携等について協議や栽培試験などを進めており、今後も引き続き取り組む。

——企業育成・企業誘致など今後どのように行うのか

市内企業を育成・支援するため、関係機関と連携し、セミナー開催や情報提供を行うとともに、企業誘致についても当市が持つポテンシャルを生かした取り組みを進めていく。

③バラ園の価値を増す付属施設の設置について

付属施設を設置することは、実現することが難しい。既存の施設を有効活用してソフト面の充実を図ることとバラ園の魅力向上に努める。



市民クラブ
木村 光 宏

自衛隊との関係及び 連携について

①退職自衛官の雇用について

【市長】市の嘱託職員などの採用は、各部署で必要とする専門性や資格、経験等の条件を加味し、公正な選考を経て採用を行っているため、退職自衛官など特定の枠を設けて採用するということはない。

しかしながら、退職自衛官は現職時代にさまざまな資格を取得されている方も数多くいることから、結果として、退職自衛官が嘱託職員として防災関連業務や車両運転業務などの業務に従事している。

——退職自衛官の正職員としての採用について

職員の採用は、地方公務員法の規定により成績主義の原則のもと、競争試験または選考の実施が求められているほか、年齢や受験資格などの各種要件を付していることから、一

定の年齢に達した退職自衛官を正職員として採用することは難しい。

②自衛官等の募集協力について

——岩見沢市の自衛官等募集協力はどのような事項があるか

自衛隊法に基づき、優秀な人材の確保と募集事務の円満な推進に向けて、自衛官等の募集事務の協力や広報活動を行っている。

主な募集協力としては、自衛官等の募集事務を所管する自衛隊札幌地方協力本部からの依頼に基づき、自衛官等募集案内を市広報に掲載するほか、ポスターの庁内掲示を行うとともに、北海道中央バスの車内広告を活用し、自衛官等募集広告の掲示を実施している。

さらには、自衛官及び自衛官候補生の募集対象者について、紙媒体での名簿の提供も行っている。

こうした募集事務に対する取り組みが認められ、防衛大臣感謝状を授与されるなど、当市が行う募集事務に対する協力は、一定の評価をいただいている。

——新たな募集協力依頼があった場合

今後とも自衛隊札幌地方協力本部と連携をしながら、効果的な取り組みに対し、適切に対処していく。



日本共産党議員団
上 田 久 司

学校トイレの 取り組みについて

①洋式トイレの設置及び環境整備について

【教育長】公立小中学校において児童生徒が日常的に使用するトイレの洋便器の割合は、全国で43・3%、全道で51・3%に対し、岩見沢市は、長寿命化改修、改築等を進めたことにより、70・6%となっている。今後、校舎全体の老朽化の進みぐあいや児童生徒数の推移を考慮しながら、大規模な改修工事等にあわせて、洋便器の設置を進めていく。

水の音が流れる装置の設置については、緑陵高校は女子トイレの全個室に設置しているが、現段階で小中学校に導入する予定はない。

また、消臭スプレーや除菌クリーナーについては、トイレの個室に設置している学校は無い。

男子トイレの小便器を無くして洋

便器のみとして整備している学校があることは認識しているが、学校建築の際は、設備等の機能についても学校現場と設計段階から十分に打ち合わせを行っている。

これまで、学校現場から要望されたことは無いが、今後、大規模な改修工事を行う際は、学校現場と十分に連携するとともに、生活様式や児童生徒のニーズ等を踏まえた整備計画を立てていく。

②暖かい便座設置の取り組みについて

近年校舎の改築や大規模改修を行った学校については、洋式化にあわせて暖房便座を設置している。校舎全体の改修を伴わない場合は、各個室にコンセントを配置する必要がある。大規模な電気設備工事が必要となることから、今後も校舎の改築や大規模改修時に暖房便座を設置していきたいと考えている。

③温水洗浄便座設置の取り組みについて

緑陵高校は全部の洋式便器に設置されているが、小中学校は、噴出ノズルの衛生面や清掃の手間などの観点から、現段階では、多目的トイレに限定し設置をしている。



日本共産党議員団
山田 靖 廣

大型連休への 対応について

①児童生徒及び学校への影響と対応について

——クラブ活動や教師の勤務体制などの対応について

【教育長】教育委員会では、週当たり2日以上、年間104日以上の休養日の設定や、部活動の顧問は年間及び毎月の活動計画・実績を校長に提出することが義務づけられた方針を本年の3月に策定しており、ゴールデンウィーク期間の10連休についても、児童・生徒・教師にも過度な負担とならないよう、配慮している。

——連休に伴う授業数確保について

今年度の市内小・中学校における年間授業日数は、昨年度と比較して2日から4日少なくなっているが、各学校における授業時数については、インフルエンザの流行などによる学級・学年閉鎖を想定した余剰時数などを総合的に勘案し確保してお

り、各学校においては長期休業日数の短縮や6時間授業をふやすなど、創意工夫による年間授業時間の確保に努めている。

——児童館開設等への要望について

市内児童館、放課後児童クラブとも9日間の休館となったが、早い時期からの周知とともに休日対応が可能なファミリー・サポート・センターを紹介したこともあり、開設状況を確認する問い合わせは数件あったものの、保護者からの開設要望などはなかった。

——5月病の影響と対応について

5月末において、1カ月間に7日以上欠席した児童生徒は4月末と比較して15人増、昨年同月と比較して18人増の58人であった。学校からの報告では10連休が影響したと思われる事例は1件となっており、それ以外の事例については連休が直接的な要因となったとは判断できないと考えている。

今後児童生徒や学級の実態把握、そして各学校との連携のもと、不登校となった児童生徒への細やかな対応、不登校の未然防止に対する取り組みを進めていく。



公明党
猪口 満 雅

高等教育への 奨学金制度について

①第1期総合戦略のうち、地元学生定着促進事業について

——本事業の進捗状況と第2期総合戦略に向けての考え方について

【市長】検討状況については、継続的な財政負担が前提となる事業であり、多角的な検討が必要とされるなど、多くの課題が残されていることから、現行の総合戦略の計画期間内における事業の実施には至らなかった。

現在第1期総合戦略の検証作業に取り組んでおり、本事業についても引き続き検討を重ねていく。

第2期総合戦略の策定に向けては、地元学生の定着や人材の育成、若者の定住やUI・Jターンといった新しい人の流れに結びつけていくことができるのかという観点からも、総合的な検討を進めていきたいと考えている。

②岩見沢育英会の奨学金制度について

——岩見沢育英会の奨学金制度の見直しに対する今後の連携について

【教育長】育英会においては、国の給付型奨学金の拡充や大学等における授業料減免制度の創設などを受けて、現制度の見直しを含めた検討を進めていくとの話を聞いており、教育委員会としても、子供たちが経済的な面で進学を断念することのないよう、検討段階から積極的に意見交換を行いたいと考えている。





公明党
友正 須齊

認知症対策について

①本市における認知症が原因での行方不明・事故の件数について

【市長】過去3年間の行方不明件数は合計108件で、そのうち認知症が原因と思われるのは91件と8割以上を占め、事故で2人の方が亡くなっている。

②行政と医療機関と町会がどのように連携して見守りが必要な人の情報を共有されているか

各地域包括支援センターの「認知症地域支援推進員」が中心となり、認知症初期集中支援チームや医療機関などの情報共有を図るとともに、必要に応じて町会とも連携し、支援体制を推進していく。

③認知症サポーターについて

認知症サポーター養成講座を平成22年度から本年6月まで計303回開催

し、延べ9,627人を養成している。

——認知症サポーター養成講座を修了した人に対してのスキルアップの内容について

養成講座を修了した方が地域で活動できることを目的に、医師による講話やグループホームの見学等を含めた認知症サポーター・ステツプアップ講座を平成29年度から開催している。

④認知症カフェ設置への取り組み内容について

認知症カフェは、市内5カ所で保健推進員や地域住民、介護事業所により自主的に運営されているところであり、従来からの市や地域包括支援センターによる人的支援に加え、今年度より新たに活動費を助成することとした。

⑤認知症ケア講習「ユマニチュード」について

——認知症支援にかかわるサポーターのスキルとして必要ではないか
ユマニチュードはフランスで開発された認知症ケアメソッドの一つであり、既に介護現場などでもこの要素が取り入れられており、本市でも引き続き効果的な介護技法について研究し、認知症サポーターの養成に努める。



市民クラブ
樹正 戸越

子育て世帯のメンタルヘルスの増進について

①子育て世帯のメンタルヘルスに関する、市の施策について

——岩見沢市では、子育て世帯のメンタルケアのために行っている施策が現在あるのか

【市長】妊娠出産をする女性は、身体的にも精神的にも負担が大きいことから、保健師を中心に妊娠時から見守りと支援を行っている。また、母子手帳の交付時には、祖父母などの支援者がいるか等、さまざまな視点で面談し、関係機関と連携し支援している。その中には当然、精神面の支援も含まれている。

②メンタルが弱っている親を、専門家がへつなげる事業をしているか

市内の産婦人科では、産後うつにつながる兆候がないかを見るアンケート調査を出産後や生後2週間、生後1か月の健診時に行い、産後う

つのリスク分析を行うと共に、リスクがある場合は保健センターの保健師につながる仕組みができています。その他にも産前産後ヘルパーや子育て支援センターなど、さまざまな機会を捉えて、必要に応じて専門機関につなげている。

——家族みんなが笑顔になるまちづくりのため、今後メンタルヘルスの増進にどのように取り組まれるのか
子育て家庭が抱える悩み、特にメンタルケアについては、相談すること自体に抵抗を感じないような体制づくりが必要となる。

こども子育てひろば「えみふる」の、保護者が最も安心して話ができるスタッフを中心に支援する仕組みは、特に介入が難しいメンタルケアにも有効であり、今後この特徴を生かし、必要な支援を確実に届けていきたいと考えている。



災害に向けた活動や 取り組みについて



政 和 会
池 島 和 行

①災害の種類や規模、被災状況に応じた災害ボランティアの受け入れやボランティアセンターの設置場所について

——岩見沢市社会福祉協議会と具体的な協議の進捗状況について

【市長】災害ボランティアセンターは、岩見沢市社会福祉協議会が設置することになっており、今後の進め方については、社会福祉協議会が本年8月と9月に「災害ボランティアセンターの設置訓練」を実施する予定と聞いており、その訓練に市の担当職員も参加し、課題や問題点を共に検証しながら、円滑に設置・運営できるように具体的な協議を進めることとしている。



②人材を有効的に活用するための情報共有の場について

——ネットワーク組織の設立についての検討について

7月16日に、防災関係有資格者と市が情報共有を図る機会として「防災関係有資格者連絡会議」を開催し、国や市の防災情報を提供するとともに、意見交換を行い、災害時はもとより防災関係有資格者が、平時から地域で活動できるよう、ネットワーク組織の構築に向け、作業を進めている。

今後においても、スキルアップ研修会や定期的に連絡会議を開催し、防災関係有資格者が、その知識や経験を生かした活動をしていただき、地域の防災力が高まるよう進めていく。

議会の構成が決まりました

議会運営委員会

委員長	平野義文
副委員長	池島和行
委員	太田博之
〃	峯泰教
〃	宮下透
〃	日向清一
〃	斉須正友
〃	山田靖廣

議会の運営に関する事項や議長の諮問に関する事項などを協議しています。

常任委員会

総務常任委員会

委員長	大坂龍起
副委員長	池島和行
委員	木村光宏
〃	篠原藤雄
〃	豊岡義博
〃	日向清一
〃	猪口満雅
〃	山田靖廣

民生常任委員会

委員長	古石英仁
副委員長	斉須正友
委員	越戸正樹
〃	平野義文
〃	増山宣之
〃	峯泰教
〃	石黒武美

経済建設常任委員会

委員長	宮下透
副委員長	上田久司
委員	伊澤幸信
〃	太田博之
〃	武田貞行
〃	野尻清
〃	河合清秀

常任委員会は、議案等を詳しく審査するために設置されています。委員会条例により、議員は少なくとも一つの常任委員となるものとしています。

特別委員会

議会改革推進特別委員会

委員長 増山宣之					副委員長 野尻清				
委員	伊澤幸信	大坂龍起	太田博之	木村光宏	越戸正樹				
	武田貞行	豊岡義博	平野義文	峯泰教	宮下透				
	池島和行	石黒武美	日向清一	古石英仁	猪口満雅				
	斉須正友	上田久司	山田靖廣	河合清秀					

第2回定例会において、議会の活性化を推進することに必要な事項について調査、研究することを目的として、議会改革推進特別委員会が設置されました。

「岩見沢市議会に関するアンケート調査」 を実施しています

市議会及び議会活動に対する市民ニーズの把握と先般実施された市議会議員選挙の投票行動について把握することを目的として標記調査を実施いたします。

詳しくは岩見沢市議会ホームページでもお知らせします。

なお、特設ページでも回答を受け付けています。下記URLもしくはQRコードよりアクセスしてください。

皆様のご協力よろしくお願いいたします。

URL <https://customform.jp/form/input/33441/>



議会を傍聴してみませんか？

本会議と委員会は、どなたでも傍聴することができます。

会議当日に傍聴席入口にて、受付票に住所・氏名等をご記入いただければ傍聴することができます。

ぜひ傍聴にお越しください。

※団体が傍聴される方は、席の確保の都合上、あらかじめ議会事務局までご連絡をお願いします。

議会事務局 Tel 23 - 4111 (内線 462・463)

本会議のインターネット中継について

本会議の模様をインターネット動画サイトYouTubeにて生中継・録画中継しております。
下記URLもしくはQRコードよりご覧ください。

URL https://www.youtube.com/channel/UCjjSzdyAOXBFq_yRLRIS7gg



編集後記

広報広聴委員会 委員長 太田博之

9人の委員による新体制でスタートした「広報広聴委員会」も半数が新人という中で、活発な議論が進められています。

これまで市民の皆様に親しまれ、わかりやすい紙面や映像づくりに努めて参りましたが、今期はさらに開かれた議会を目指し、市民目線でお伝えしようというキャッチボールのように、市民の皆様との双方向の関係を構築していくために、多くの皆様に「岩見沢市議会に関するアンケート調査」を行って参ります。

さらに、このアンケート調査の集計結果を題材に市民の皆様と岩見沢市議会全員で意見交換会の開催を企画し、皆様の声をこれからの岩見沢市議会に反映して参りたいと考えております。

皆様のご協力、よろしくお願いいたします。

〔委員長〕太田博之

〔副委員長〕池島和行

〔委員〕越戸正樹

平野義文

宮下 透

日向清一

猪口満雅

山田靖廣

河合清秀

ホームページ

議員名簿、議会の概要、本会議、委員会などの会議のお知らせ、過去の会議の結果（会議録）などを掲載しています。



市議会の詳しい情報は、岩見沢市議会のホームページをご覧ください。
(上記QRコードからもご覧になれます。)

